

## § 3 止血法

一般に体内の全血液量の約20%が急速に失われると出血性ショックとなり、30%以上になると生命が危険となります。

成人の全血液量は体重の約1/3と言われ、体重65kgの人で約5リットルです。全血液量の3分の1というと、500mlのペットボトル3～4本になります。

### 血液の種類

#### <動脈性出血>

真っ赤な血が脈打つように噴出します。

太い血管では、瞬間的に多量の血液を失って出血死のおそれがあります。

#### <静脈性出血>

赤黒い血が持続的に湧くように出血します。

太い静脈からの出血も多量になると同様に出血死のおそれがあります。

### 直接圧迫止血法

#### ①出血部位を確認

☆ 出血が多いか？少ないか？

☆ 動脈性か？静脈性か？

☆ 大量の出血の場合、出血部位を心臓より上に挙げる。

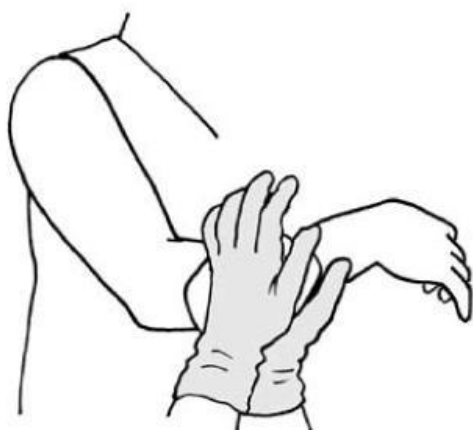
#### ②血部位を圧迫

☆ きれいなガーゼやハンカチ、タオル等を重ねて傷口に当てその上を感染防止のためゴム手袋やビニール袋を使用して、手もしくは三角巾等で圧迫する。

☆ 市販の伸縮包帯があれば、やや強めに巻く。

☆ 片手で止血できない時は、両手で体重を乗せながら圧迫止血する。

☆ 手足を細いロープや針金で縛ることは、神経や筋肉を損傷するおそれがあるのでしないで下さい。



ビニール手袋を着用して  
ガーゼを圧迫する



手袋の代わりにビニール袋を  
利用する